

三次市立学びの多様化学校等の設置場所について

1. 学びの多様化学校について

(1) 設置場所(予定)

現)三次市立君田中学校

(三次市君田町東入君10361番地1)

(2) 選定理由

- ・設置場所検討の視点に基づき検討した結果、最も適した施設である。
- ・設置に対する当該地域の理解が得られている。

(3) 協議等の経過

期 日	事 項
7月25日	君田自治区連合会から、「学びの多様化学校」として、君田小・中学校施設の活用を求める「要望書」を受理。
8月22日	君田自治区連合会理事会において、「要望書」に関する検討状況の説明を行う。
9月12日	「要望書」に対する回答を手交のうえ、説明を行う。
11月14日	「中学校区再配置に向けた取組などの報告会」において、「学びの多様化学校」の設置方針等の説明を行う。
12月19日	君田自治区連合会理事会において、「学びの多様化学校」の設置場所検討の視点、施設調査状況の説明を行う。
1月26日	「学びの多様化学校の設置に向けた君田地区説明会」において、「学びの多様化学校」の概要の説明を行う。また、君田中学校施設を設置場所とすることについて、地域の理解と協力を得て取り組むことを説明し、意見交換を行う。
1月30日	君田自治区連合会理事会において、設置場所として進めていくことの確認を行い、理解を得る。

2. 小規模特認校について

(1) 設置場所

- ・設置場所について検討を進めているが、予定地の選定に至っていない。

「学びの多様化学校」及び「小規模特認校」設置に係る施設状況

学校名 項目	河内小学校	八幡小学校	旧小童小学校	君田中学校
閉校(予定を含む)	R9.4	R8.4	R7.4	R8.4
普通教室及び普通教室への転用可能な教室	<内訳> ・既存普通教室：3 ・転用可能教室：多目的室 2、保管庫 (元普通教室)	<内訳> ・既存普通教室：3 ・転用可能教室：PC教室、放課後児童クラブ室、多目的教室	<内訳> ・既存普通教室：4 ・転用可能教室：多目的教室、外国語教室	<内訳> ・既存普通教室：2 ・転用可能教室：PC教室、英語教室、ランチルーム(元普通教室)
※必要普通教室数 学びの多様化学校：3 小規模特認校：6				
施設概況	○校舎 ・築年数：35年(H2.2) ・構造：鉄筋コンクリート造 ・階数：3階 ・延床面積：1,627㎡ ○プール 有 ○防災面 ・浸水想定区域 ・基幹避難所	○校舎 ・築年数：34年(H3.3) ・構造：鉄筋コンクリート造 ・階数：2階 ・延床面積：1,325㎡ ○プール 有 ○防災面 ・補助避難所	○校舎 ・築年数：38年(S62.2) ・構造：鉄筋コンクリート造 ・階数：2階 ・延床面積：1,341㎡ ○プール 有 ○防災面 ・地域避難場所	○校舎 ・築年数：36年(S64.3) ・構造：鉄筋コンクリート造 ・階数：2階 ・延床面積：2,316㎡ ○プール 無 ○防災面 ・土砂災害警戒区域(急傾斜地)
現地調査(R2年度)	・健全度：校舎77・体育館98 ・劣化状況評価：15位	・健全度：校舎75・体育館77 ・劣化状況評価：14位	・健全度：校舎64・体育館72 ・劣化状況評価：10位	・健全度：校舎65・体育館39 ・劣化状況評価：11位
位置・アクセス (JR三次駅から)	約4km (公共交通機関) ・路線バス	約22km (公共交通機関) ・路線バス	約29km (公共交通機関) ・なし	約11km (公共交通機関) ・路線バス
所見	○施設・設備 ・6教室の確保ができる ○通学環境 ・路線バスでの通学は難しい ○開設準備に要する期間 ・学校運営と開設準備を同時に行う必要がある	○施設・設備 ・6教室の確保ができる ○通学環境 ・路線バスでの通学は難しい ○開設準備に要する期間 ・開設までの準備期間が確保できる	○施設・設備 ・6教室の確保ができる ○通学環境 ・通学に利用できる公共交通機関がない ○開設準備に要する期間 ・開設までの準備期間が確保できる	○施設・設備 ・3教室の確保ができる ○通学環境 ・路線バスでの通学は難しい ○開設準備に要する期間 ・開設までの準備期間が確保できる
検討状況	・小規模特認校の設置に関する基本的な考え方にに基づき、地域（住民自治組織、保護者等）と協議を重ねたが、設置について受け入れない旨の回答を受ける。	・八幡小学校閉校記念事業実行委員会による、地域活性化につながる利活用検討が行われている。	・令和7年12月12日三次市議会全員協議会以降、施設の懸念事項が生じ、大規模な施設修繕を要する可能性がある。	・要望書の提出や施設状況を踏まえ、学びの多様化学校の設置場所として進めていくことを確認し、理解を得ている。